

広島大学

令和6年度一般選抜(前期日程)・
外国人留学生選抜B日程2月実施

解答例

科目名：

国語総合(近代以降の文章)・現代文B

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

第一問 解答例

問一 a 渦 b 状態 c 想像 d 繊細 e 膨大

問二 知覚や感覚は人間にとって生得的な能力であり、知覚される世界、感覚される世界は、赤ん坊でも大人とたいして変わらないこと。

問三 生まれつき眼は見えないが、手で触れば立方体と球を区別し正しく言い当てられるという人が、開眼手術を受けて眼が見えるようになったとき、立方体と球を眼で見ただけで正しく言い当てることができるかという問題。

問四 1 それは、開く提である。

2 立方体や球がそれとして見えるようになるためには、立方体や球から光の刺激を受け、それに応じて身体を動かすという経験を積む必要があるため、開眼手術を受けた直後は、眼の前に混沌が広がるだけで何も見えず、立方体や球を見ることはできないということ。

問五 開眼手術を受けた人が事物を見ることができるようになる時点は、手術直後ではなく触覚経験を含む視覚経験を積んだ後と捉えることができる。その時点であれば、触覚経験と立方体や球の触覚的な現れとのつながりを介して、立方体と球の視覚的な現れを触覚的な現れと関係づけることで、立方体と球を視覚のみから正しく認識できる可能性があるため。

問六 最初はすべてのものが上下逆さに見えるが、身体を動かす経験を積んでいくと、あるものは逆さに、あるものは正立して見えたり、混沌として見えたりする段階を経て、最終的にすべてが正立して見えるようになる。

問七 分節化

問八

交響曲の指揮者は、楽器の演奏から受ける音という刺激に応じて感覚器官を適切に動かして、新たな刺激を探り出す、ということを繰り返し出すことで、刺激の探り出しを適切に行うための感覚運動スキルを習得し、膨大な数の音の響き合いのなかから、それぞれの楽器の音を正確に区別して知覚することができるようになる。

第二問 解答例

問一 村長―寺に食料を提供する代償の労働だと考えている。

五代―増産の役に立つための労働だと考えている。

問二 自分たちの労働が日本という国にどのよう貢献しているかがわからず、労働の意味が見出せないということ。

問三 Aでは、勤労働員は教練より楽であり、食糧の特配があるからありがたいと考えていたが、Bでは、学生の本分を奪われ、先のない労働をやらされ続ける境遇に置かれたことで、勉強に専念できる環境がいかに尊く、そうした環境が奪われている現状がいかにつらいものかを理解したため、考えに変化が生じた。

問四 小学生である自分たちにはどうにもならない戦争という「時代」が目の前に広がり始めたことがわかり、産業戦士と同じ仕事をさせられることで心身ともに痛めつけられた草村の境遇に自分たちもいずれ置かれるということ。

問五 氷川たちは食糧を村長や江口のような疎開先の人々に頼るしかなく、村長たちがそうした弱みにつけこんで自分たちをこき使おうとするだけでなく、野菜泥棒呼ばわりしたことが許せなかったから。

問六 「トマト」は、戦時下の子供たちの「苦しみ」に満ちた生活の中で希望を求めながらも、思い通りにならないもどかしさを感じていることを象徴している。

第三問

解答例

- 問一 1 ① 灰色がかった緑の苔むした安山岩 ② 不揃いの石を重ねた積み方 ③ 崩れ残った石垣
2 心がなごむ。ほっとする。

問二 店のおばさんの声かけが、自身の仕事の目的地を聞かれたような気持ちにさせてくれるから。

問三 パックした食品が並び、退屈そうな顔付きの従業員がいるスーパーとは異なり、食品の下準備や陳列から接客まであるじが甲斐甲斐しく店を切り回す八百屋には、生活感が感じられるということ。

問四 野菜や果物から放たれる透明な生命の光が感じられる朝や昼の八百屋の様子もよいが、その透明な生命の光が電球のあかりで赤や緑などの色彩に彩られ、まるで豪華なオペラの舞台のように見える夜の八百屋の様子もまたいいということ。

問五 「苔が金色に輝くとき」もしくは「濡れた苔が金色に輝く」

問六 筆者には時代が変わっても守りたいものがあり、川沿いの町にはそれがまだ残っていることを確認できたから。